



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月11日

上場会社名 松田産業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7456 URL <https://www.matsuda-sangyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松田 芳明

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員IR部長 (氏名) 田中 善則

TEL 03- 5381- 0728

四半期報告書提出予定日 2020年11月12日

配当支払開始予定日

2020年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (当社ホームページにて動画掲載予定)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	111,677	9.9	3,669	14.3	3,683	13.2	2,735	19.8
2020年3月期第2四半期	101,644	1.0	3,211	28.1	3,254	19.5	2,283	23.0

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 2,662百万円 (42.7%) 2020年3月期第2四半期 1,866百万円 (27.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	104.10	
2020年3月期第2四半期	86.72	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	94,621	62,542	66.0
2020年3月期	94,509	60,527	63.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 62,435百万円 2020年3月期 60,428百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		17.00		17.00	34.00
2021年3月期		18.00			
2021年3月期(予想)				18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	220,000	4.3	6,300	0.9	6,400	0.2	4,600	13.7	175.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	28,908,581 株	2020年3月期	28,908,581 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	2,711,997 株	2020年3月期	2,575,930 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	26,275,417 株	2020年3月期2Q	26,332,717 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、個人消費の失速や企業活動の停滞など極めて厳しい状況となりました。緊急事態宣言解除後は、政府による経済対策により日本国内の経済活動に一部回復傾向がみられるものの、世界的な新型コロナウイルス感染症の再拡大や米中貿易摩擦などから、先行きにつきましても依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中で、当社グループは新型コロナウイルス感染症に対し従業員並びに関係する全ての皆様の安全を最優先として感染防止に努めると共に、持続的成長と企業価値の向上に向け事業の拡大に取り組み、貴金属関連事業においては、営業展開の強化と国内外の生産拠点活用により、貴金属原料の確保、化成品等の製商品販売及び産業廃棄物処理受託の拡大に取り組みました。また、食品関連事業においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けたサプライチェーンの混乱に対する懸念がある中で安定供給責任を果たすと共に、顧客ニーズを捉えた商品の開拓と提供に鋭意取り組み販売量の拡大に努めました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高111,677百万円（前年同四半期比9.9%増）、営業利益3,669百万円（前年同四半期比14.3%増）、経常利益3,683百万円（前年同四半期比13.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,735百万円（前年同四半期比19.8%増）となりました。

各セグメント別の概況は次のとおりであります。

貴金属関連事業

当事業の主力顧客であるエレクトロニクス業界は、新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言下においては生産活動に規制や自粛がみられたものの、解除後は徐々に生産活動が再開されたことから電子部品・デバイス分野においても増産傾向となり緩やかな回復の動きがみられる結果となりました。

このような状況の中で、当社グループの貴金属関連事業では、産業廃棄物処理受託は減少したものの貴金属リサイクルの取扱量は緩やかに増加し、金製品等の販売量増加に加え貴金属相場の上昇もあり、売上高及び営業利益は前年同四半期に比べ増加しました。これらの結果、当該事業の売上高は73,011百万円（前年同四半期比20.4%増）、営業利益は3,266百万円（前年同四半期比38.2%増）となりました。

食品関連事業

当事業の主力顧客である食品製造業界は、緊急事態宣言解除に伴い徐々に個人の消費活動が再開されてきたものの、外出自粛の傾向は継続し、外食産業の低迷による業務用需要の縮小や土産物の販売低迷が続いております。一方で、巣ごもり需要による冷食・加工食品等の生産増など、企業の生産活動において好不調のばらつきは継続しており、全体的には厳しい状況となりました。

このような状況の中で当社グループの食品関連事業では、農産品の販売量は増加しましたが、水産品、畜産品の販売量は減少し、売上高は前年同四半期に比べ減少しました。また保管料等の増加もあり、営業利益は前年同四半期に比べ減少しました。これらの結果、当該事業の売上高は38,704百万円（前年同四半期比5.7%減）、営業利益は402百万円（前年同四半期比52.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(1) 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ112百万円増加し、94,621百万円となりました。これは主として受取手形及び売掛金と有形固定資産の増加と、現金及び預金とその他流動資産の減少との差引によるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,902百万円減少し、32,079百万円となりました。これは主として買掛金の増加と短期借入金の減少との差引によるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ2,014百万円増加し、62,542百万円となりました。これは主として期末配当金の支払い447百万円を上回る利益剰余金の増加によるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1,342百万円減少し、10,309百万円となりました。

(営業活動のキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動により増加した資金は4,524百万円となりました。これは主として税金等調整前四半期純利益、減価償却費及び仕入債務の増加による資金の増加と、売上債権の増加、法人税等の支払いによる資金の減少との差引によるものです。なお、前年同四半期の277百万円の資金の増加に比べ4,247百万円増加しました。

(投資活動のキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動に使用した資金は1,628百万円となりました。これは主として工場設備の新設等の有形固定資産取得によるものです。なお、前年同四半期の1,131百万円の支出に比べ496百万円の支出増加となりました。

(財務活動のキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動により減少した資金は4,093百万円となりました。これは主として短期借入金の返済によるものです。なお、前年同四半期の1,565百万円の資金の増加に比べ5,659百万円減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、本日（2020年11月11日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,652	10,309
受取手形及び売掛金	19,936	21,637
商品及び製品	23,135	22,580
仕掛品	423	494
原材料及び貯蔵品	8,062	8,555
その他	5,257	4,200
貸倒引当金	△68	△39
流動資産合計	68,398	67,738
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,238	11,426
減価償却累計額	△5,450	△5,614
建物及び構築物 (純額)	5,788	5,812
機械装置及び運搬具	9,237	11,214
減価償却累計額	△7,589	△7,894
機械装置及び運搬具 (純額)	1,647	3,320
土地	8,938	8,759
リース資産	1,826	1,867
減価償却累計額	△771	△896
リース資産 (純額)	1,054	970
建設仮勘定	1,124	624
その他	1,414	1,459
減価償却累計額	△1,089	△1,137
その他 (純額)	324	321
有形固定資産合計	18,878	19,808
無形固定資産		
その他	579	561
無形固定資産合計	579	561
投資その他の資産		
投資有価証券	4,406	4,473
繰延税金資産	665	487
その他	1,597	1,589
貸倒引当金	△18	△37
投資その他の資産合計	6,651	6,513
固定資産合計	26,110	26,882
資産合計	94,509	94,621

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,898	9,955
短期借入金	7,023	3,011
1年内返済予定の長期借入金	1,268	1,578
リース債務	365	369
未払法人税等	1,398	1,248
賞与引当金	918	1,024
その他	5,297	4,782
流動負債合計	24,168	21,969
固定負債		
長期借入金	6,040	6,521
リース債務	733	627
役員退職慰労引当金	670	667
執行役員退職慰労引当金	11	14
退職給付に係る負債	2,301	2,230
繰延税金負債	9	10
その他	47	36
固定負債合計	9,813	10,109
負債合計	33,982	32,079
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,559	3,559
資本剰余金	4,008	4,008
利益剰余金	56,069	58,356
自己株式	△3,010	△3,210
株主資本合計	60,626	62,714
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	423	480
繰延ヘッジ損益	△164	△139
為替換算調整勘定	990	671
退職給付に係る調整累計額	△1,447	△1,289
その他の包括利益累計額合計	△197	△278
非支配株主持分	98	106
純資産合計	60,527	62,542
負債純資産合計	94,509	94,621

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	101,644	111,677
売上原価	90,694	100,145
売上総利益	10,950	11,531
販売費及び一般管理費	7,739	7,862
営業利益	3,211	3,669
営業外収益		
受取利息	8	3
受取配当金	17	17
投資有価証券売却益	27	1
持分法による投資利益	-	59
仕入割引	5	5
受取補償金	32	-
その他	42	26
営業外収益合計	134	112
営業外費用		
支払利息	33	35
持分法による投資損失	7	-
為替差損	7	26
その他	43	35
営業外費用合計	91	98
経常利益	3,254	3,683
特別利益		
土地売却益	-	347
特別利益合計	-	347
税金等調整前四半期純利益	3,254	4,030
法人税、住民税及び事業税	989	1,209
法人税等調整額	△30	81
法人税等合計	959	1,290
四半期純利益	2,294	2,739
非支配株主に帰属する四半期純利益	11	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,283	2,735

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	2,294	2,739
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△91	56
繰延ヘッジ損益	△297	31
為替換算調整勘定	△23	△294
退職給付に係る調整額	7	158
持分法適用会社に対する持分相当額	△23	△28
その他の包括利益合計	△428	△77
四半期包括利益	1,866	2,662
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,853	2,654
非支配株主に係る四半期包括利益	13	7

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,254	4,030
減価償却費	723	974
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	7	△10
賞与引当金の増減額 (△は減少)	160	106
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	12	154
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△15	△0
執行役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△18	2
受取利息及び受取配当金	△26	△20
支払利息	33	35
持分法による投資損益 (△は益)	7	△59
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,802	△1,767
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,200	△86
仕入債務の増減額 (△は減少)	72	2,129
その他	△200	348
小計	1,008	5,838
利息及び配当金の受取額	36	68
利息の支払額	△33	△36
法人税等の支払額	△733	△1,346
営業活動によるキャッシュ・フロー	277	4,524
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,112	△2,002
有形固定資産の売却による収入	2	445
無形固定資産の取得による支出	△82	△91
投資有価証券の取得による支出	△6	△6
投資有価証券の売却による収入	30	4
その他	37	21
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,131	△1,628
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,509	△4,039
長期借入れによる収入	-	1,500
長期借入金の返済による支出	△383	△709
配当金の支払額	△394	△447
自己株式の取得による支出	△0	△200
その他	△164	△197
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,565	△4,093
現金及び現金同等物に係る換算差額	△30	△145
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	680	△1,342
現金及び現金同等物の期首残高	7,816	11,652
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,496	10,309

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	貴金属関連事業	食品関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	60,617	41,026	101,644	—	101,644
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	36	36	△36	—
計	60,617	41,063	101,680	△36	101,644
セグメント利益	2,364	847	3,211	—	3,211

(注) 1 調整額の内容は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	貴金属関連事業	食品関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	73,011	38,665	111,677	—	111,677
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	38	38	△38	—
計	73,011	38,704	111,715	△38	111,677
セグメント利益	3,266	402	3,669	—	3,669

(注) 1 調整額の内容は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。